

③ Vredeborg Fort Museum

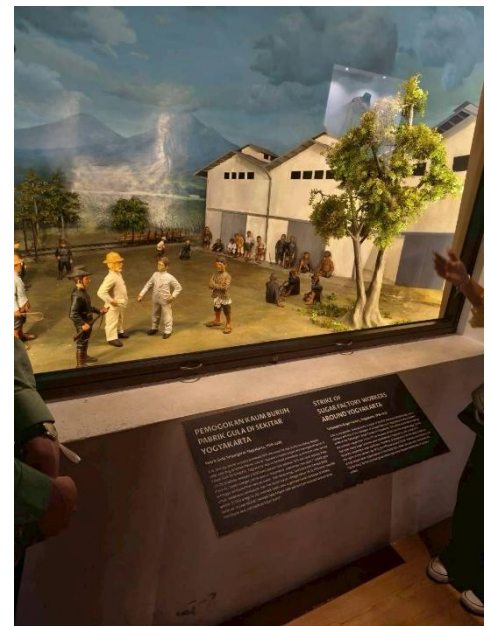
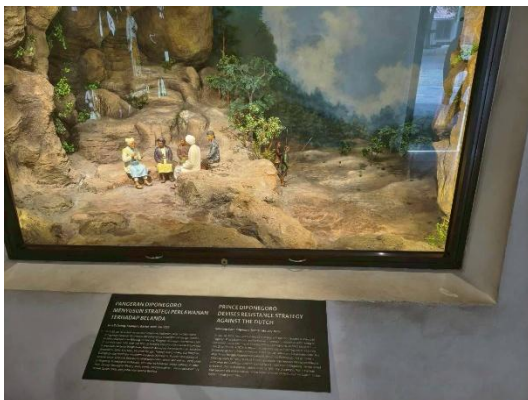
理工学部 2 年

Vredeborg Fort Museum とは

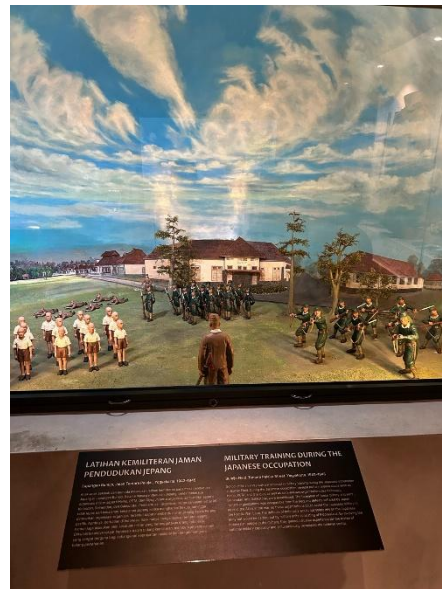
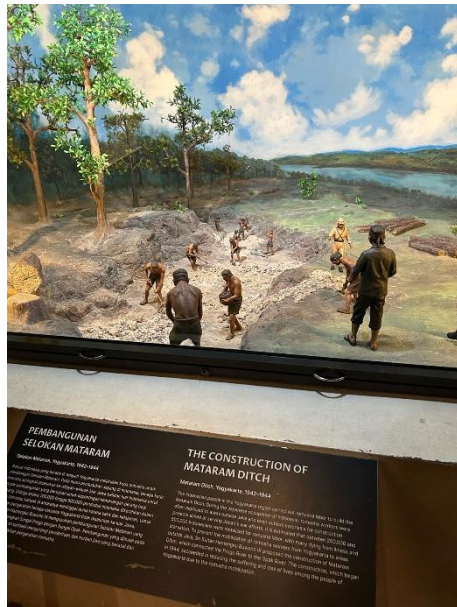
フレデブルク要塞博物館についてフレデブルク要塞博物館は 18 世紀後半にジョクジャカルタ王宮を監視するためにオランダによって築かれたものであり、四隅には大砲が備わった西洋式の要塞となっている。現在ではインドネシアの植民地時代や独立戦争に関してジオラマや写真などの展示を行っている。

1 ジオラマ 1

ここではオランダ植民地時代（1900 年ごろまで）展示がされている。ジョクジャカルタの植民地以前の文化や生活の他にもオランダによる支配やそれに対する住民による抵抗運動などが紹介されている。

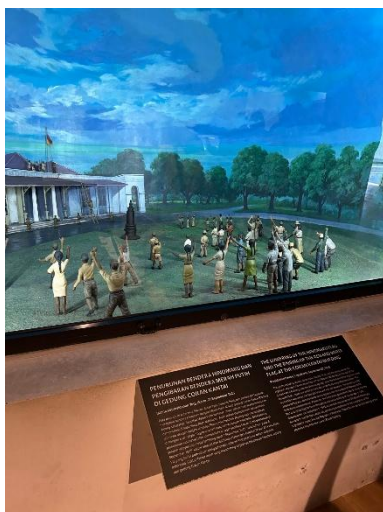


2 ジオラマ 2 ここでは日本軍がオランダから支配権を奪い、日本による占領が行われていた（1942～1945 年）時代の展示がされている。日本軍による教育や宣伝や日本軍による強制労働が再現されている。



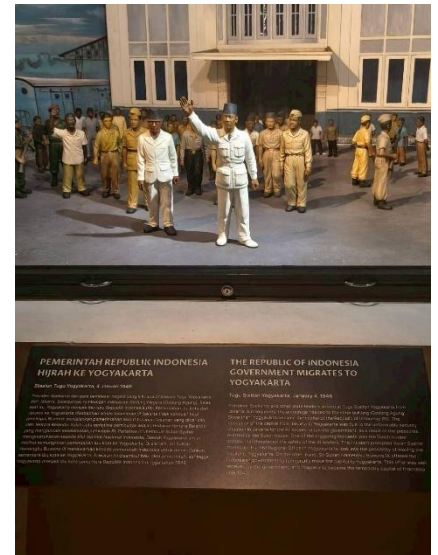
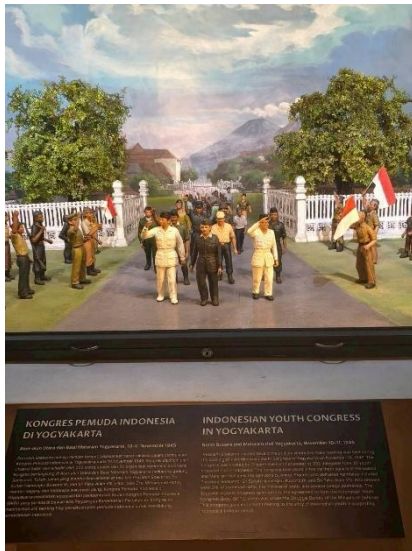
3 ジオラマ 3

ここでは独立宣言と独立戦争に関する展示がされている。インドネシア独立宣言（1945 年 8 月 17 日）から始まり、国民軍の結成やジョグジャカルタを拠点とした戦闘の様子が描かれる。下の写真では独立宣言をしたシーンや日本軍による抵抗や英国空軍による襲撃がジオラマになっている。



4 ジオラマ 4

独立後の国家建設について、戦後復興から近代化に向かう過程を教育や農業やインフラの他に都市の生活の変化を用いて紹介している。また初代大統領であるスカルノをはじめとする指導者たちがインドネシアを1つにまとめ、スハルト時代以降の安定と近代化についても紹介されている。



まとめ

要塞博物館を訪れて政治に関するジオラマを見てみると、スカルノは独立後の国家建設を主導した指導者として国民的な人気を背景に権力を集中させ、独裁的な政治を行っていたことがわかる。続くスハルトは軍を基盤として体制を固め、反対を許さない強権的な統治を維持した。現在では民主的な政治が行われているが、近年のインドネシアでは再び独裁的な傾向が現れる可能性も否定できない。この博物館は戦争史だけでなく、市民の生活や社会の変化にも焦点を当てており、植民地時代から独立後に至るまでの歴史をジオラマを通じて理解しやすく構成されていた。

